

各 位

上場会社名 株式会社 ニッキ
 代表者 取締役社長 和田 孝
 (コード番号 6042)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 田中 宣夫
 (TEL 046-285-0227)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表いたしました第 2 四半期業績予想及び平成 21 年 7 月 31 日に公表いたしました通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,400	△540	△570	△540	△57.58
今回修正予想 (B)	2,947	△721	△827	△821	△87.65
増減額 (B-A)	△453	△181	△257	△281	
増減率 (%)	△13.3	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	5,177	△169	△97	△62	△6.62

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	△500	△470	△480	△51.18
今回修正予想 (B)	2,345	△666	△740	△752	△80.20
増減額 (B-A)	△455	△166	△270	△272	
増減率 (%)	△16.3	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	4,618	△147	△58	△62	△6.71

平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,800	△270	△250	△60	△6.39
今回修正予想 (B)	6,600	△800	△930	△740	△78.91
増減額 (B-A)	△1,200	△530	△680	△680	
増減率 (%)	△15.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	8,972	△494	△437	△477	△50.91

平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,800	△290	△240	△60	△6.39
今回修正予想 (B)	5,800	△720	△810	△630	△67.18
増減額 (B-A)	△1,000	△430	△570	△570	
増減率 (%)	△14.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	8,120	△409	△300	△360	△38.41

修正の理由

当第2四半期累計期間の連結及び個別業績は、昨年後半からの景気後退の影響を受け、販売先の在庫調整を含めた受注減少等の要因により、売上高は前回公表した予想値を下回る見込みとなりました。

また、損益につきましては、効率化・合理化によるコスト削減策はほぼ計画通り進捗したものの、売上減少に伴う固定費負担の増加や為替差損により前回公表した予想値を下回る見込みとなりました。

通期につきましては、受注の回復傾向も見られており、またガス機器の新機種立上げを予定しており、第3四半期及び第4四半期合計の業績は、第2四半期累計期間を上回る見込みとなりましたが、需要の回復が当初予想よりもずれ込んでおり、前回公表した予想値を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上